

## 教員用指導案

- 前回の内容
  1. テーマの決定
  2. 仮説の検討（ノート p.22 を記入中）
  
- 本時の目的  
研究手法を調べて研究の道筋を考え、必要に応じて仮説を修正する。
  
- 事前連絡（担任から生徒へ）  
課題研究メソッド・課題研究ノートを持ってくる
  
- 当日の配布物・掲示物  
なし
  
- 本時の流れ ※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。

### 導入（5分）

1. タブレットを配布  
『今日も前回と同様、タブレットを用いて必要な情報を集めながら授業を進めます。指示があるまでは電源を入れずにそのまま机の上に置いてください。』
  
2. メソッドを用いて研究手法を紹介
  - ✓ メソッド p.72～89・ノート p.16～21 に、研究手法の種類や準備に必要な物などの説明が記載されているので、参考にしよう指示する。
  - ※ 今回、ループリックは使用しません。

### 展開（40分）研究手法完成

1. 研究手法のまとめを完成させる
  - ✓ ここからタブレット使用可能
  - ✓ 班長のノート p.22 を記入しながら進める
  - ✓ 自分たちで用意できる物と、できないものをピックアップしておく  
(次回の活動⑦で購入希望物品を集計します。)
  - ✓ 授業の最後にノートを回収し、担当の教員で添削を行うことを伝えておく

※ インターネットに接続できない班が出た場合は、その班のみコンピューター室に行くよう指示して下さい。その際の監督は副担任の先生お願いします！

## 2. 研究計画書作成に着手

- ✓ 研究手法のまとめ（ノート p.22）が完成した班は、ノート p.24・25 へ進む
- ✓ タブレット使用可
- ✓ 班長のノート p.24・25 を記入しながら進める
- ✓ **研究活動は 8 時間であることを伝えておく**
- ✓ 次回の活動⑦も研究計画書の作成を行う
- ✓ 必要があればリサーチクエスチョンや仮説を修正する

## まとめ（5分）

### 1. ノートを回収する

- ✓ 班長のノートを提出させる（p.22 が完成していれば OK。P.24・25 は途中で良い）
- ✓ ノートの裏表紙に班番号と班長の名前を記入する

### 2. 次回の予告

- ✓ 研究計画書のつづきを行う。（ノート p.24・25 を完成させる）
- ✓ 研究に必要な物品（自分たちで準備できる物とできない物）を集計するので調べておくこと

### 3. 次回の持ち物

- ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート